

「ニューノーマル時代の『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2021」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、国立研究開発法人情報通信研究機構、北陸経済連合会、北陸情報通信協議会との共催により、サイバーセキュリティ月間行事として、2月4日、5日の2日間にわたり、オンラインで「ニューノーマル時代の『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2021」を開催しました。

これは演習とセミナーから構成する2日間のイベントで、北陸地域での独自の取組として今年で3回目となります。

初日はサイバー攻撃に対処する能力を磨く実践的演習「Micro Hardening」を開催しました。全国から参加した23名が5チームに分かれ、オンライン（Zoom、Slack）でチーム内のコミュニケーションをとりながら、講師から提供された電子商取引サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処しました。今回は、フローや入出力情報などの業務要件の維持を要素に加えた、より実践的なもので、演習後は各チームの対応記録を元に振り返りを行いました。

2日目はYouTube Liveでセミナーを配信し、まず、総務省の田原 康生サイバーセキュリティ統括官が「総務省におけるサイバーセキュリティ政策の最新動向」と題して講演しました。続くパネルディスカッションでは、北陸先端科学技術大学院大学教授／内閣サイバーセキュリティセンター参与の篠田 陽一氏をファシリテータに迎え、「ニューノーマル時代の『ビジネス』を護るサイバーセキュリティ」をテーマにパネリストが様々な視点での意見交換を行い、総勢約80名が参加しました。

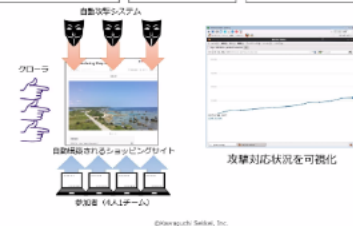
【Practice Day (Micro Hardening)】 2月4日



講師：（株）川口設計代表取締役 川口 洋氏

コンセプト：繰り返しできること

45分1セット 複数セット 毎回同じ攻撃

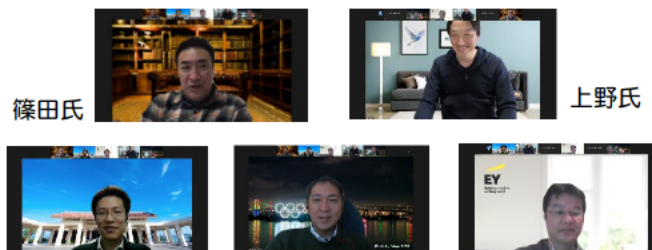


Micro Hardening 演習イメージ

【Seminar Day】 2月5日



総務省 田原統括官



篠田氏

上野氏

川口氏

中西氏

森島氏

パネルディスカッションの様子

（ファシリテーター）

北陸先端科学技術大学院大学 教授／内閣サイバーセキュリティセンター 参与 篠田 陽一氏

（パネリスト）

（株）トライコーダ代表取締役 上野 宣氏

（株）川口設計代表取締役 川口 洋氏

（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会/NECネクサソリューションズ（株）

中西 克彦氏

EYストラテジー・アンド・コンサルティング（株）
ディレクター 森島 直人氏